

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	新しいステージ創出大作戦in丘フェス
事業主体 (連絡先)	飯田丘のまちフェスティバル実行委員会 0265-52-1715
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,147,541 円

事業内容

丘フェスの新しいステージを創出することを目的に、中高生を対象とした声優コンテスト「声優魂中部大会in丘フェス」を開催。会場の外には、痛車、名車、痛公用車を展示したり、会場内にも丘フェスの様子の写真展示を実施。来場者に声優コンテスト以外にも楽しんでもらえる空間創りを演出した。中部大会決勝の課題として全て飯田オリジナルの原稿を作成し審査対象とした。またナミキちゃんオリジナル動画を作成し、入選者にアフレコを披露してもらった。



【中部大会決勝終了後】

【目標・ねらい】

- ①中部大会を催することで他地域から人を呼び込む宣伝ツールとして活用し、国際的にも脚光を浴びるサブカルチャーの聖地となるような活動に繋げる
- ②新たな若者の発掘及び夢を叶える為のステージを中心市街地に創

事業効果

- ①中部大会として実施することで、中京、北陸、東北、関東エリア等から68名の声優を目指す中高生からのエントリーがあり、募集する過程でのPRは大きなインパクトが期待できた。また丘フェスマスコットキャラクター「ナミキちゃん」と声優をメディアミックスによる多層展開することにより、よりPR力を高める手法には大いに発展性があった。また8月に中部大会を開催したことで、11月の丘フェスにも大勢来場いただくことができた。
- ②長野県で声優をテーマにしたイベントは初となる試みとなった。県内の高校には、声優部や放送部など実際に活動をしている部活動もあり、より身近に声優を感じてもらえ、将来プロの声優がここ飯田から輩出されるような新しい文化を構築できることも考えられる。

※自己評価【 B 】

【理由】

全国各地の中高生から申し込みを頂いた。また、将来の夢の実現に向けた新しいステージを創出することができた。

今後の取り組み

フィギュア、コスプレ、痛車、ドールなどのサブカルチャーを中心とした約40のイベントと250余りのブースが中心市街地に一堂に会する飯田丘のまちフェスティバルは、5万人の来場者を迎える飯田下伊那では最大の年間イベントに成長し本年で13回目を迎えました。多様な主体が各イベントを実施し、小さい子供からお年寄りまで楽しめるコンテンツが充実しており地域イベントとしては全国でも注目されています。また、中心市街地で丘フェスを実施することにより飯伊の誰もが「活動できる・集える・楽しめる・出会える」中心拠点としての役割を担っています。

サブカルがここ飯田で根付いてきた今、今後も夢を持ち可能性に満ちている若者の新たな才能の発掘及び支援を実施し、新しいステージや発表する機会を今後も強化し創出していきたい。